

令和3年度景観研修実施要領 ※共催

■目的

実務者に必要な景観に関する基礎的な知識の習得を図る。

■受講予定者

建設業及び測量設計業、造園業に従事する民間の技術者

※受講予定者以外の方でも受講できますが、研修内容が専門的であることを申し添えます。

■募集人員

15人

※定員を超える申込みがあった場合は締切前であっても募集を終了し、申込みされましても受講できない場合がございますので、ご了承ください。

※研修については、公平性を考慮して1社あたり1名程までとします。

※新型コロナウイルス感染拡大により、オンライン研修となります。

オンライン受講は、事前にオンライン研修が受講できるよう通信環境を整えていただく必要があります。

■研修期間

令和3年10月12日(火) 13時30分～16時30分

■場所

オンライン研修

■講義内容

(別頁参照)

■申込方法

宮崎県建設技術推進機構のホームページ研修の1. 一般研修—景観研修—申込み(フォーム)にて申込んでください。

※建築士会CPDの申請に必要ですので、希望される方は、11桁の建築士会CPD番号、または、建築士番号を申込フォーム(連絡欄)に入力願います。

※詳細はホームページをご覧ください。

■申込締切

令和3年9月30日(木)

■研修経費及び納入方法、納入期限

(1)研修経費

一人当たり 2,000円(オンライン研修のためテキスト送料・受講証明書送料含む)

(2)納入方法

受講決定者には受付メールを送付します。

宮崎県建設技術推進機構のホームページ研修受講料銀行振込についての注意事項(PDF)を参照願います。

※業務の都合等で受講できない場合は、代わりの方が受講しても構いませんが事前にご連絡ください。

(3)納入期限

令和3年10月5日(火)まで

■取消し・返金について

①令和3年10月5日(火)までの取消し

受講料から振込手数料を除いた額を返金

②令和3年10月6日(水)以降の取消し

返金できません(ただし、テキストを郵送します)

■申込先及び問合せ先

(公財)宮崎県建設技術推進機構 土木課 企画研修システム担当

〒880-0803 宮崎市旭1丁目2番2号 企業局庁舎5階

TEL 0985-20-1830 FAX 0985-20-1850

メールアドレス info@mk-suishin.or.jp

ホームページ <https://www.mk-suishin.or.jp>

※宮崎県建設技術センターへのお問合せはご遠慮ください。

■受付日時

令和3年10月12日(火) 13時00分～13時15分(オンライン受付)

※本研修は(一社)建設コンサルタンツ協会継続教育(CPD)、(一社)宮崎県建築士会(建築CPD)のプログラム認定中です。

令和3年度景観研修概要 ※共催

【概要】※日時、予定人員、内容等は変更となる場合がございます。

期 間	令和3年10月12日(火) 13時30分～16時30分					
場 所	オンライン研修					
目 的	実務者に必要な景観に関する基礎的な知識の習得を図る。					
受講予定者	建設	○	法面	—	測量設計	○
	地質	—	造園	○	その他	(県・市町村職員)
予 定 人 員	15人					
主 催	宮崎県建設技術センター、公益財団法人 宮崎県建設技術推進機構					

【時間割】

月日	曜日	時間	教科目	講師
10月12日	火	13:00～13:15	受付	
		13:15～13:30	開講式・オリエンテーション	
		13:30～14:25	『イントロダクション』	宮崎大学 地域資源創成学部 尾野 薫 氏
		14:25～14:30	休憩	
		14:30～15:25	『風景のとらえ方』	長崎大学 工学部 大学院工学研究科 システム科学部門 准教授 石橋 知也 氏
		15:25～15:30	休憩	
		15:30～16:30	『風景のつくり方』	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 景観デザイン研究室 研究員 増山 晃太 氏

【内容】

講義名	内容
『イントロダクション』	○ 「景観」や「風景」などの意味をどのように捉えているか意識共有を図る。 また、参加者の志望動機等を確認しながら、この後の講義の中での気付きや学びに繋げることを目的とする。
『風景のとらえ方』	○ 対象地の地形や歴史を景観として読み解くことの重要性について学ぶ。 ・地図の縮尺とスケール感に応じた風景の読み方 ・地形を風景として読む ○ 視点場を正しく理解する。
『風景のつくり方』	○ 通常業務において、景観に配慮することの必要性について学ぶ。 ○ 現地調査において共有すべき内容(必要条件)について学ぶ。 ○ 景観に配慮した事例について、景観設計のアプローチを学ぶ。 ○ 公共工事における景観、視点場の捉え方について考える。